れい わ ねん がつ にち げつ ぜんこうちようかいこうちようこう わ
令和6年5月13日(月)全校朝会校長講話

じぶん たいせつ もの な かな かな はなし
「自分の大切な物が無くなると悲しい」という話

こうちようせんせい つか みじか えんぴつ つか つづ す
校長先生は、使うたびに短くなっていく鉛筆を使い続けるのが好きです。

きいろ ぼうし ねんせい ねんせい そつぎょう おな つか つづ
ランドセルも黄色い帽子も、1年生から6年生の卒業まで同じものを使い続
けました。

にゅうがく とき ぼうし ねんせい あたま ちい なんねん
入学した時の帽子なんて、6年生の頭には小さすぎます。ましてや、何年も
つか こ
使い込んでいくと、ペしゃんこにつぶれて、色もくすんでしまいます。

おな ぼうし つか つづ ざんねん ころ
どうして、同じ帽子を使い続けたのでしょうか。残念ながら、こどもの頃のことな
ので、どうしてなのかは覚えていません。

ひと たし もの たいせつ つか つづ もの ともだち
でも、一つ確かなことは、「物を大切に使い続けると、物であっても友達のように
かん
感じてしまう」。それが校長先生の心なのかもしれない、ということです。

ともだち まいにち あ あ きょう おも
友達には、毎日会いたい。会えなくても、今日はどうしているのかな、って思っ
てしまう。2年生以上の児童のみなさんは、たしか離任式のときに、友達のこと
はなし
についてのお話がありましたね。

こうちようせんせい ころ かよ ともだち じぶん も もの む あ おとな
校長先生は、心の通う友達のように自分の持ち物に向き合いたいと、大人
おも
になっても思っています。

もし、そうであるならば、自分の大切な、友達のように大切な持ち物がどこか
な かな きも
に無くなってしまったら、悲しくなります。この気持ち、わかってくれますか。

こうちようせんせい じぶん も もの たいせつ つか ひと かな おも
校長先生は、自分の持ち物を大切に使用している人には悲しい思いをしてほ
おも
しくない、と思っています。では、みなさんはどうすればよいと思いますか。

「自分の大切な物が無くなると悲しい」という話(続き)

かんたん ともだち も もの そまつ あつか そまつ
簡単です。お友達の持ち物を粗末に扱わない、ということです。「粗末」って

い み たんにん せんせい はなし
どういう意味かな。これは担任の先生にお話をしてもらいましょう。

こうちようせんせい みじか えんぴつ なら なが いま す
ちなみに、校長先生は、短くなった鉛筆を並べて眺めるのが、今でも好きです。

きょう じぶん たいせつ もの な かな はなし こうちよう
今日は、「自分の大切な物が無くなると悲しい」というお話をしました。校長

せんせい はなし お
先生のお話、終わります。